



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 共和レザー株式会社

コード番号 3553 URL <http://www.kyowale.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 花井 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 恵造 TEL 053-425-2121

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,514	△11.5	295	△51.7	264	△59.2	198	△54.6
2019年3月期第1四半期	11,877	3.6	611	△12.6	647	△15.7	436	△9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 247百万円 (△34.2%) 2019年3月期第1四半期 376百万円 (△17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.09	ー
2019年3月期第1四半期	17.82	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	50,418	32,264	62.0	1,276.13
2019年3月期	50,710	32,439	62.0	1,283.51

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 31,263百万円 2019年3月期 31,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	16.00	ー	16.00	32.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期 (予想)	ー	16.00	ー	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	21,000	△8.6	600	△32.4	700	△26.6	500	△20.6	20.41
通期	46,000	0.7	2,800	43.6	2,900	41.9	2,000	33.5	81.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	24,500,000株	2019年3月期	24,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,737株	2019年3月期	1,737株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	24,498,263株	2019年3月期1Q	24,498,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなど景気は緩やかに回復しているものの、中国経済の減速などにより輸出を中心に弱さが見られ、製造業では景況感が悪化している状況です。

このような状況のもと、当企業グループの売上高は105億1千4百万円と前年同期（118億7千7百万円）に比べ11.5%の減少となりました。

売上高を用途別にみますと、車両用につきましては、主として中国向け売上の不振により88億4千7百万円と前年同期（99億2千2百万円）に比べ10.8%の減少となり、住宅・住設用につきましては、主として壁装事業撤退の影響により7億4千4百万円と前年同期（9億6千8百万円）に比べ23.1%の減少となり、ファッション・生活資材用につきましては、9億2千1百万円と前年同期（9億8千6百万円）に比べ6.6%の減少となりました。

利益面につきましては、中国向け売上の不振による売上高の減少などにより経常利益は2億6千4百万円（前年同期経常利益6億4千7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千8百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益4億3千6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、504億1千8百万円となりました。

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、268億9千8百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、235億1千9百万円となりました。これは主として投資有価証券が減少したことによります。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ2.1%減少し、157億4千5百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ9.9%増加し、24億8百万円となりました。これは主として、その他に区分されているリース債務が増加したことによります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、322億6千4百万円となりました。これは主として剰余金の配当を行ったため、利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,338	8,581
受取手形及び売掛金	10,056	9,247
電子記録債権	3,329	3,408
有価証券	1,407	1,708
商品及び製品	2,040	2,081
仕掛品	656	658
原材料及び貯蔵品	856	882
その他	448	430
貸倒引当金	△84	△100
流動資産合計	27,047	26,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,395	3,359
機械装置及び運搬具(純額)	5,281	5,174
土地	3,778	3,778
建設仮勘定	1,117	1,428
その他(純額)	541	527
有形固定資産合計	14,115	14,267
無形固定資産		
のれん	140	130
ソフトウェア	86	117
その他	45	354
無形固定資産合計	272	602
投資その他の資産		
投資有価証券	7,245	6,641
長期貸付金	38	35
繰延税金資産	896	820
退職給付に係る資産	158	187
その他	963	991
貸倒引当金	△28	△27
投資その他の資産合計	9,274	8,649
固定資産合計	23,662	23,519
資産合計	50,710	50,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,911	8,470
電子記録債務	2,780	2,829
短期借入金	775	724
未払金	1,654	1,621
未払法人税等	276	21
役員賞与引当金	74	18
資産除去債務	6	12
その他	1,600	2,047
流動負債合計	16,079	15,745
固定負債		
役員退職慰労引当金	150	133
退職給付に係る負債	2,012	1,894
資産除去債務	29	29
その他	—	352
固定負債合計	2,191	2,408
負債合計	18,271	18,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810	1,810
資本剰余金	1,654	1,654
利益剰余金	27,056	26,844
自己株式	△0	△0
株主資本合計	30,520	30,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	218
為替換算調整勘定	326	368
退職給付に係る調整累計額	379	367
その他の包括利益累計額合計	923	955
非支配株主持分	995	1,001
純資産合計	32,439	32,264
負債純資産合計	50,710	50,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,877	10,514
売上原価	9,656	8,611
売上総利益	2,221	1,902
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	527	541
役員賞与引当金繰入額	23	20
役員退職慰労引当金繰入額	8	17
その他	1,050	1,027
販売費及び一般管理費合計	1,609	1,607
営業利益	611	295
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	17	16
持分法による投資利益	20	23
投資有価証券売却益	29	-
デリバティブ評価益	8	24
その他	18	32
営業外収益合計	100	103
営業外費用		
為替差損	29	94
売上割引	9	8
固定資産除却損	11	4
その他	15	27
営業外費用合計	65	134
経常利益	647	264
税金等調整前四半期純利益	647	264
法人税等	214	66
四半期純利益	432	197
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	436	198

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	432	197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	1
為替換算調整勘定	△57	48
退職給付に係る調整額	△13	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	11
その他の包括利益合計	△56	50
四半期包括利益	376	247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	229
非支配株主に係る四半期包括利益	△25	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において391百万円の剰余金の配当を行っております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当企業グループの在外子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについては、当第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

本基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間における連結貸借対照表は、無形固定資産の「その他」が339百万円、流動負債の「その他」が75百万円、固定負債の「その他」が295百万円それぞれ増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。